

## 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名: すみれアセットマネジメント株式会社(飛騨朝日地域活性化協議会)

令和6年8月8日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
岐阜県 高山市	令和2年度	市町村・中核法人実施型	古民家を一棟貸しの宿泊施設に改修し、インバウンドに向けたストレスフリーな滞在空間を提供することで、高山周辺地域の活性化を目指す。

### 1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

<p>(評価コメント) 令和4年度にOTAサイトに掲載したばかりということもあり、当地域への来訪者数が回復するまでに至らなかったことから、成果を上げているものと認められない。 今後は、地域の特色を活かした体験プログラムや宿泊プラン等を効果的に情報発信するとともに、地域の関連団体と連携を強化し、積極的な集客に取り組んでいただきたい。</p> <p>(指導・助言等) 本事業で整備した宿泊施設について、早期に「売上高」及び「延べ宿泊者数」の目標を達成するために、体験プログラムや宿泊プラン等を組み合わせるだけでなく、ターゲット層に合わせた当該地域への来訪手段を含めたツアーを造成するなど、集客力の向上を図ること。 また、外部要因の影響により予定どおりの実施ができない場合も想定し、あらかじめ対応策を検討するなど、工夫されたい。</p>
--

### 2. 低調と評価された要因

<ul style="list-style-type: none"><li>・当初予定していた協議会での宿泊プロモーションが、マンパワー不足で実施できなかった。</li><li>・OTAサイト(Booking.com)に登録したが、魅力的な発信ができなかった。</li><li>・旅行商談会に参加したが、地域内の宿泊機能が少なく大人数の受け入れができないため、団体旅行や教育旅行の誘致ができないこと、地域内の宿泊施設の連携がとれていないため、ツアー商品が作りにくいことを指摘され、成約につながらなかった。</li></ul>
--

### 3. 目標達成に向けた方策

<ul style="list-style-type: none"><li>・自社のプロモーションを強化するために、宿泊担当スタッフを2名配属する。</li><li>・他のOTAサイトや貸別荘サイトへの登録を検討する。</li><li>・ターゲットの見直しを実施する。</li><li>・新たに設定したターゲットを取り込めるよう、適宜施設改修を実施する。</li><li>・認知度向上のために、自社サイトを公開し、常に情報発信ができる体制を整える。</li><li>・農泊商談会に積極的に参加し、連携できる旅行会社を見つけるとともに当施設の売り方についてのアドバイスをいただく。</li></ul>
---

### 4. 改善状況

<p>新たに宿泊担当スタッフを2名配置し、OTAサイトや自社ホームページでの情報発信を開始した。また、農水省の専門家派遣事業を活用し、ペット泊やサウナ泊需要だけでなく、大学のサークル等の少人数のグループ旅行をターゲットとし、自ら施設改修の実施、食事メニューの見直し、OTAサイト掲載先の拡大及び商談会の参加など積極的に活動したことは評価できる。しかし、活動内容が、宿泊者数の増加につながっておらず、成果を上げているものと認められない。 今後は、新たに設定したターゲットに向けて、Kabuto Villasを起点とする周遊ツアー等を楽天トラベルやAirbnb等のOTAサイトや自社サイトで情報発信することにより、集客力の向上が期待される。</p>
--

## 農山漁村振興交付金(農泊推進対策) 重点指導結果

事業実施主体名:とこなめ農泊観光推進協議会

令和6年8月8日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
愛知県 常滑市	令和3年度	農泊地域高度化促進事業 高付加価値化対応(食)	常滑市に訪れる国内外の旅行者に、地域資源を活用した食事や体験などを楽しんでいただく農泊事業を推進するための取組を実施。

### 1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

開発したメニューは、試食会で好評を得、パッケージも完成したものの、販売まで至らなかったことから、成果を上げているものと認められない。  
今後は、開発したメニューを販売するとともに、景観を活かしたモニターツアー等について内容を磨き上げ、HP等で公表することで、更なる集客力の向上を期待する。

(指導・助言等)

本事業で開発したメニューについて、早期に「売上高」及び「延べ利用者数」の目標が達成できる販売及びモニターツアー・広報計画を立案すること。製造業者の選定が遅れること等により、予定どおりに実施ができない場合も想定し、あらかじめ対応策を検討するなど、工夫されたい。

### 2. 低調と評価された要因

開発したメニューは、試食会で好評を得、パッケージも完成したものの、販売まで至らなかった。

### 3. 目標達成に向けた方策

- ・ 製造業者を選定後、レシピ開発者監修のもと「常滑牛乳キャラメル」を製造し、常滑市陶磁器会館で販売を開始する(11月上旬予定)。
- ・ FIELD STYLEや技能五輪全国大会などのイベントに出店し、新商品をPRする(11月)。

### 4. 改善状況

レシピ開発者監修のもと「常滑牛乳キャラメル(冷凍)」を製造し、令和5年11月3日より常滑市陶磁器会館で販売を開始した。  
当初出店を予定していたイベントは、電源の確保ができないことから見合わせる事となったが、別のイベントに出店することができた。しかし、予算の都合で商品ラベルが貼付できず、販売数量が伸びなかった。その後、リニューアルした商品ラベルを貼付して販売を再開し、とこなめ観光協会ホームページのお土産特集に掲載する等しているものの、目標達成には至らず、成果を上げているものと認められない。  
開発したキャラメルは、冷凍商品であることから、販売方法が限定されるため、引き続き、宿泊施設や飲食施設等を含めた協議会全体での効果的な販売促進方法等を検討いただきたい。